



地域経済の発展に
中立・客観・専門的な
分析・提言で貢献する

ちいき未来研究所
年報
2025 年度版

地域に最も詳しいシンクタンク



一般財団法人

ちいき未来研究所

目次

発刊のご挨拶	1
ちいき未来研究所概要	2

ちいき未来研究所調査月報ダイジェスト (2025年4月号～2026年3月号)

新春トップ インタビュー	マツダ株式会社 代表取締役会長 菖蒲田 清孝 氏	4
	公立大学法人 北九州市立大学 学長 柳井 雅人 氏	6

経営者 インタビュー	インタビューにご登場いただいた皆様	8
	インタビュー概要	
	株式会社ウエストホールディングス 代表取締役専務 荒木 健二 氏	10
	第一交通産業株式会社 代表取締役社長 田中 亮一郎 氏	11
	医療法人 社会福祉法人 健仁会 統括本部長(現・社会福祉法人 理事長) 村上 英之 氏	12
	株式会社砂原組 代表取締役社長 砂原 傑 氏	13
	株式会社タカミヤ 代表取締役社長 上田 桂嗣 氏	14
	深川養鶏農業協同組合 代表理事組合長 末永 明典 氏	15
	株式会社弘木技研 代表取締役社長 弘中 善昭 氏	16
	株式会社フランス屋 代表取締役社長 安田 洋一 氏	17
	株式会社アデリー 代表取締役社長 小野 典子 氏	18
	スガナミ物産株式会社 代表取締役 三上 誠司 氏	19
	株式会社中島ターレット 取締役会長 中嶋 英二郎 氏	20

潮流	インタビューにご登場いただいた皆様	22
	インタビュー概要	
	中小企業庁 経営支援部 商業課長(兼)中心市街地活性化室長 伊奈 友子 氏	23
	公益財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央 氏	24
	経済産業省 中国経済産業局 局長 林 揚哲 氏	25
	環境省中国環境パートナーシップオフィス・中国地方ESD活動支援センター 事務局長 松原 裕樹 氏	26
	(現・特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 専務理事・事務局長)	
	国立大学法人 山口大学 理事・副学長 上西 研 氏	
	(現・副学長／産学連携・研究基盤・研究プロジェクト担当)	
	地方独立行政法人 山口県産業技術センター 理事長 小関 浩幸 氏	27
	国立大学法人 九州大学 理事・副学長・プロボスト／未来社会デザイン統括本部 副本部長 荒殿 誠 氏	
	同 名誉教授・総長特別顧問／「Q.O.E.100」推進チームリーダー(当時) 清須美 匡洋 氏	28
	農林水産省 農村振興局 農村政策部 部長 河村 仁 氏	29

我が社のイチ推し!	30
-----------------	----

ちいき未来研究所調査レポートダイジェスト

人口減少を克服する持続的・自律的な山口県経済への提言	33
山口県・広島県・福岡県 消費行動の構造分析2025	35
経済指標	37

「ちいき未来研究所年報」

発刊のご挨拶

平素より当研究所の活動にご理解とご支援を賜り、

心より御礼申し上げます。

当研究所は、山口銀行の創立30周年記念事業の一環として、

1974年に設立されました。

2025年4月には、「一般財団法人山口経済研究所」から

「一般財団法人ちいき未来研究所」へ名称を変更するとともに、

機関誌の内容を充実させ、

地域や企業を取り巻く課題、政策動向、

調査研究の成果などをより幅広くお届けしてまいりました。

このたび発刊いたしました「ちいき未来研究所年報」は、

調査研究領域の拡大(山口県、広島県、北部九州)と

情報発信の充実という新たな取り組みを始めてからの1年間を振り返り、

その歩みと成果を広くお伝えするために取りまとめたものです。

本誌には、研究所の概要をはじめ、

機関誌「ちいき未来研究所調査月報」等に掲載したインタビュー記事、

消費・人口に関する調査レポート、経済指標など、

この1年間の主な成果をダイジェストとして収録しております。

こうした活動の全体像をご覧いただくことで、

創立以来、半世紀にわたる歩みの先にある

当研究所の新たな挑戦にも目を向けていただき、

地域や企業を取り巻く課題への理解を深める一助となれば幸いです。

ちいき未来研究所は、これからも地域に最も詳しく、

地域から最も頼りにされるシンクタンクを目指し、

調査研究と情報発信のさらなる充実に努めてまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、

よろしくお願い申し上げます。

2026年7月1日

一般財団法人ちいき未来研究所

理事長 西村 健一



ちいき未来研究所 活動のご案内

ちいき未来研究所の強み

山口県・広島県・北部九州に最も詳しいシンクタンクとして、
信頼性の高い専門的かつ中立的な情報・調査・分析をご提供いたします。



中立性

一般財団法人として、
利害関係にとらわれない中立的な
調査・分析を提供します。



専門性・信頼性

50年を超える業歴に基づく専門性と
信頼性に高い評価を
いただいています。



ネットワーク力

山口県・広島県・北部九州における
産学官金の関係者とのネットワークを活かし、
実効性の高い提言につながる
調査・分析を行っています。

ちいき未来研究所の主な活動内容



01 自主調査事業

山口県・広島県・北部九州の経済・産業・企業経営等に関する調査研究を行い、その成果を、機関誌『調査月報』、『季報』等の誌面で発表しています。調査研究結果の一部は、個別に有料でご提供しています。



02 受託調査事業

様々なテーマに関して有料で調査・情報提供を行っています。

官公庁・経済団体様向け

政策立案や事業評価に役立つ
調査・分析をご提供します。

例：経済波及効果、各種実態・ニーズ調査、
計画策定支援など

民間企業様向け

企業の経営判断やマーケティング施策に
活用できる調査・分析をご提供します。

例：消費動向、出店需要予測、法人・個人
の意識調査 など



03 セミナー・講演

当研究所オリジナルの調査・分析結果を活用したセミナー・講演を承ります。地域の市場特性理解や企業・行政の動向把握などにご活用いただけます。

賛助会員のご案内

当研究所は賛助会員の皆様に対し、機関誌の提供やセミナー案内のほか、オーダーメイドの調査・分析を特別価格で提供するなどのサービスをご用意しております。

会員種別

会員の種別は定期刊行物の閲覧スタイルに合わせてお選びください。



Web会員
サイトで閲覧 8,700円／年



冊子会員
冊子を郵送 10,000円／年



冊子＋Web会員
12,000円／年

※Webサイトではバックナンバーも閲覧できます。

会員登録

登録はWebサイトから



ちいき未来研究所 会員

詳しい内容については電話やメールで気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先 一般財団法人 ちいき未来研究所

住所／〒750-0067 山口県下関市大和町一丁目14番1号
TEL／083-268-1155 E-mail／office@miraiken.or.jp



『走る歓び』で移動体験の感動を量産 地域に根差した経営と成長戦略

マツダ株式会社

代表取締役会長 菫蒲田 清孝 氏

* 調査月報 2026 年 1 月号掲載のインタビューを要約

●世界の経済体制転換にも着実に対応

当社は 1920 年の創業以来、オイルショックやリーマンショックなど幾多の危機を経験し、そのたびに地域の皆様に支えられながら乗り越えてきた歴史があります。

とりわけ 2025 年は、米国の関税政策という大きな動きに直面しました。この点は世界の経済体制転換にも関わるもので、長期的な課題と認識しています。事業の安定維持と将来の成長を両立すべく、着実な対応を進めております。

●独自性を軸に、移動体験の感動を提供

弊社の Purpose は「前向きに今日を生きる人の輪を広げる」で、2030VISION として『走る歓び』で移動体験の感動を量産するクルマ好きの会社になる」を掲げています。

自動車会社の使命は、移動する体験を支え、移動することを楽しんでいただけることにあります。クルマを通じて、お客様にどのような感動を得ていただけるかを大切にすることが、弊社の原点です。

また、電動化や自動化、自動運転などへの対応が進む状況下、弊社は完成車メーカーとしての「独自性」を重視しています。業界自体はコモディティ化が進むとみられ、電池の領域は競争関係ではなく協調関係であるべきと考えます。そのうえで、クルマとしてどう独自性を発揮していくのが、今後ますます重要になります。

●電動化への最適対応と新型 CX-5 の展開

電動化に関しては、充電インフラや価格水準などの経済合理性も見極める必要があります。当社は「流れには逆らわないが、流されもしない」という考え方をベースに、マルチソリューション戦略のもと、ハイブリッド車やプラグインハイブリッド車、バッテリー EV を供給します。「ライトアセット戦略」に基づく効率的な投資を進めており、2027 年稼働開始予定の岩国電池工場で電池のモジュール化・パック化技術の蓄積を進めます。

また 2026 年は、基幹モデル「新型 CX-5」のグローバル展開が収益面の柱となります。CX-5 は 2012 年の初代導入以来高い評価を受け、累計販売は 450 万台超に達する重要車種

です。新しいモデルでは、走りと乗り心地をさらに磨いたほか、大型ディスプレイや音声認識機能も備え、会話しながら運転を楽しめる体験を実現しています。

●地域と共に歩み、ビジネスで平和を支える

当社は中国地域だけで 980 社超のお取引先の皆様に支えられています。国内生産 70 万台を一つのボーダーラインとして維持しながら、地場企業と協働で強い企業体質づくりを進めます。

また、広島は平和によって復興を遂げた街です。ビジネスが仕事を生み、人々の尊厳や生活を支え、平和をつくり出す側面もあるという思いを大切にしています。

今後も運転する楽しさを提供しつつ、移動を支え、地域の暮らしや健康を守ることを使命として、一つひとつの課題を乗り越えていきます。



インタビュー全体版はこちら



新型「MAZDA CX-5」(マツダ㈱ご提供)



北九州と共に歩み創立 80 周年 新学部設置により高度情報人材の育成を推進

公立大学法人 北九州市立大学

学長 柳井 雅人 氏

* 調査月報 2026 年 1 月号掲載のインタビューを要約

● 4 つのビジョン「地域・環境・世界・情報」 2027 年に情報系新学部設置予定

北九州市立大学は、1946 年に小倉外事専門学校として創立し、今年 80 周年を迎えました。現在は、文系 4 学部・1 学群、理系 1 学部、大学院 4 研究科を擁する総合大学で、学生数は約 6,800 人と全国の公立大学では 3 位の規模です。

本学は、「地域・環境・世界・情報」の 4 つのビジョンを掲げています。地域課題の解決に取り組む実践教育、環境分野の人材育成、留学

生の受け入れや派遣などを通じた国際交流の推進に加え、昨年には時代の変化に対応すべく、新たなビジョン「『情報』で創る」を加えました。

その一環として、2027 年 4 月に、18 年ぶりとなる新学部「情報イノベーション学部」を設置する予定です。情報システム工学科を母体に、データサイエンスやアントレプレナーシップ教育のほか、企業と連携した PBL（課題解決型学習）を通じて、地域課題を解決できる即戦力の情報人材の育成を目指します。

●前年の活動をベースに新学部設置準備を加速させる 2026 年

2025 年は、「情報で創る」というビジョンの実現に向け、データサイエンス教育の強化と、情報サービス関連企業を中心とした連携拡大を進めました。こうした活動を踏まえ、2026 年は「情報イノベーション学部」の新設準備を本格化させ、入学者募集に係る対応や、企業と連携した実践教育の整備を進めます。

新学部のキャンパスは旦過市場の再開発にあわせた整備を計画していますが、工事が遅延した場合は当面、北方キャンパスでの学生受入れも視野に入れ、円滑なスタートに向けた体制構築を急ぐ方針です。加えて、旦過市場近くの「BIZIA KOKURA（ビジア小倉）」に集積する IT 関連企業との連携も図りながら、地域企業の DX 化推進に加えて、情報系産業の集積形成につなげていきます。

また、企業等の要望に応じて本学の研究者が技術指導や助言を行う、「学術コンサルティング

グ」の推進を図ります。市内に事業所を持つ中小企業には利用しやすい料金とするなど、大学をより身近な相談先とする仕組みで、旦過市場という好立地も生かしながら、DX 関連等の課題解決に直結する支援機能強化を目指します。

●優秀な人材を地元に供給し地域課題を解決

本学は、入学者の約 2 割を市内高校出身者が占め、2024 年度卒業生のうち 2 割にあたる 200 名超が北九州市内で就職するなど、市の「人口のダム機能」を一定程度果たしています。一方で、情報系分野では卒業生の半数が東京圏に就職するなど、大都市圏への流出が課題です。こうした中、北九州市では近年、情報サービス系企業の進出が増えていることから、本学としては新学部を軸に「情報×地域」の取組みを一段と強化し、地元企業を支える高度情報人材の育成と地域課題の解決につなげていきます。



インタビュー全体版はこちら



旦過市場に整備予定の新校舎イメージ

（資料）北九州市立大学よりご提供

経営者インタビューにご登場いただいた皆様

株式会社ウエストホールディングス
代表取締役専務 荒木 健二 氏



第一交通産業株式会社
代表取締役社長 田中 亮一郎 氏



医療法人 社会福祉法人 健仁会
統括本部長(現・社会福祉法人 理事長) 村上 英之 氏



株式会社砂原組
代表取締役社長 砂原 傑 氏



株式会社タカミヤ
代表取締役社長 上田 桂嗣 氏



深川養鶏農業協同組合
代表理事組合長 末永 明典 氏



経営者インタビューにご登場いただいた皆様

株式会社弘木技研
代表取締役社長 弘中 善昭 氏



株式会社フランス屋
代表取締役社長 安田 洋一 氏



株式会社アデリー
代表取締役社長 小野 典子 氏



スガナミ物産株式会社
代表取締役 三上 誠司 氏



株式会社中島ターレット
取締役会長 中嶋 英二郎 氏



潮流：インタビューにご登場いただいた皆様

中小企業庁 経営支援部

商業課長(兼)中心市街地活性化室長 **伊奈 友子 氏**



公益財団法人 北九州産業学術推進機構

理事長 **松永 守央 氏**



経済産業省 中国経済産業局

局長 **林 揚哲 氏**



環境省中国環境パートナーシップオフィス・
中国地方 ESD 活動支援センター

事務局長 **松原 裕樹 氏**

(現・特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 専務理事・事務局長)



国立大学法人 山口大学 理事・副学長

上西 研 氏

(現・副学長／産学連携・研究基盤・研究プロジェクト担当)

地方独立行政法人 山口県産業技術センター 理事長

小関 浩幸 氏



国立大学法人 九州大学 理事・副学長・プロボスト
／未来社会デザイン統括本部 副本部長

荒殿 誠 氏

同 名誉教授・総長特別顧問

／「Q.O.E.100」推進チームリーダー (当時)

清須美 匡洋 氏



農林水産省 農村振興局 農村政策部

部長 **河村 仁 氏**



我が社のイチ押し！

株式会社ハニードライ（山口県下関市）



環境配慮型 DX クリーニング

溶剤削減設備とデジタル化で品質向上と効率化を両立。人を大切にする経営により障害者・高齢者が活躍。

株式会社キャストム（広島県福山市）



金型不要の casting 法「デジタルキャスト」

一般産業分野の精密 casting で国内トップシェア。遊び心ある商品と SNS 発信でヒットを生む。

大嶺日の丸燃料株式会社（山口県美祿市）



固形燃料のフロントランナー

独自のノウハウと希少な設備による柔軟な生産体制が強い。「バイオ炭」など環境配慮型商品も展開。

株式会社ナッツ（福岡県遠賀郡遠賀町）



国内最大級のキャンピングカー業者

自社製造により安全性・快適性に優れた多彩な車種を年間 1,200 台以上供給。自治体への車両貸与等、災害復興支援にも従事。

株式会社こっこー（広島県呉市）



総合リサイクル・エクステリア・鋼板加工販売

金属スクラップや廃ガラス、太陽光パネルなどの再資源化。不動産事業や墓地リフォームなど新規事業も開拓。

株式会社リアルエステートサービス（福岡県北九州市）



火災跡地を広場に再生し賑わい創出

鳥町食道街の火災跡地を採算度外視で一括借り上げ。再生後の「魚町みらい広場」では各種イベントが開催。

株式会社ヤマウチ（山口県山口市）



多種多様な建築金物の設計加工

多能工の職人が柔軟に対応。端材活用品やコンテナハウスなど BtoC も展開。

* 詳細な内容は研究所ホームページをご覧ください

(株)ハニードライ



(株)キャストム



大嶺日の丸燃料(株)



(株)ナッツ



(株)こっこー



(株)リアルエステートサービス



(株)ヤマウチ



我が社のイチ推し！

株式会社異設計コンサルタント（山口県光市）



建築設計と土木設計の「二刀流」

地質調査から上物まで一気通貫で対応。健康経営と働き方改革も推進し女性技術職大幅増実現。

株式会社ファーストクリエート（広島県福山市）



福山を盛り上げる多角的な事業展開

ゴルフ×音楽の地域イベントで「面白い街」をつくる。手厚い出産祝い金など人を大切にする経営も特徴。

株式会社シーパーツ（山口県岩国市）



自社システムで自動車リサイクル DX 化

独自のオークションプラットフォーム構築。無在庫・高効率運営を実現。

株式会社クリスタルプロセス（広島県東広島市）



業界最長の持続性誇る車用コーティング剤

1種類・1工程での施工と高撥水性・高耐久性実現。独自技術で建築など新分野開拓。

株式会社しんこう（福岡県北九州市）



菓子製造卸から直売へ

「小さなドーナツ」など地域に愛される商品展開。お菓子中心の観光拠点づくりも進行。

株式会社畑水産（山口県下関市）



卸や料理店運営によりフグを国内外に発信

米国へフグを輸出できる唯一の卸。加工・飲食にも参入し、フグ食文化の普及をリード。

福留ハム株式会社（広島県広島市）



豚肉と塩だけで作り上げた「MIRAI」シリーズ

原材料は国産豚肉と塩のみ。丁寧に時間をかけ素材本来の力とおいしさを引き出した深い味わいの逸品。

* 詳細な内容は研究所ホームページをご覧ください

(株)異設計コンサル
タント



(株)しんこう



(株)ファースト
クリエート



(株)畑水産



(株)シーパーツ



福留ハム(株)



(株)クリスタル
プロセス



我が社のイチ押し！

都市産業株式会社（山口県宇部市）



環境目標達成プロデュース企業

産廃処理用新型焼却炉導入。分別調合ノウハウ活用や廃プラのケミカルリサイクル等で顧客の脱炭素に貢献。

戸畑物流株式会社（福岡県北九州市）



北九州市最大級の大型物流施設運営

複数企業が入居できるマルチテナント型。スムーズな自走搬出入が可能で高強度・耐久性も保持。

株式会社フーズアイ（広島県広島市）



ファブレス型の食肉商品企画販売

工場等を「持たない経営」により顧客ニーズに柔軟対応。EC・海外展開で成長戦略推進。

兵庫ボルト株式会社（山口県下松市）



鉄道車両向け特殊ボルト専門

熱間鍛造の高い技術力で多品種少量生産と高品質を両立。データ活用等により技術伝承推進。

株式会社宝来屋（山口県山口市）



老舗が誇る看板商品「シュークリーム」

地元の異業種が事業承継。伝統の味を守りながら新たな発信で次代へつなぐ。

柳井紙工株式会社（山口県熊毛郡平生町）



お菓子のおいしさを引き立てるパッケージ

ケーキ箱など多彩なお菓子に対応した商品提供。流行を取り入れたデザインと機能性をマッチさせた熟練技術が強み。

フジスコ株式会社（広島県広島市）



自然な甘みと香りにこだわる氷みつ

飲むお酢も柱の1つ。遊び心あるネーミングとおいしさを追求する味づくりが強み。

* 詳細な内容は研究所ホームページをご覧ください

都市産業(株)



戸畑物流(株)



(株)フーズアイ



兵庫ボルト(株)



(株)宝来屋



柳井紙工(株)



フジスコ(株)

